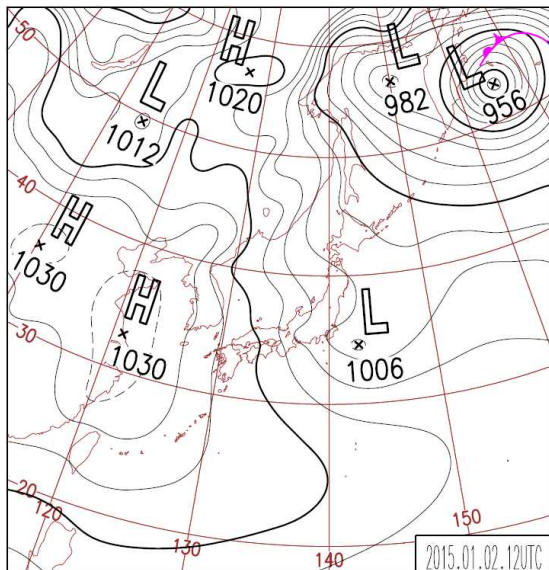


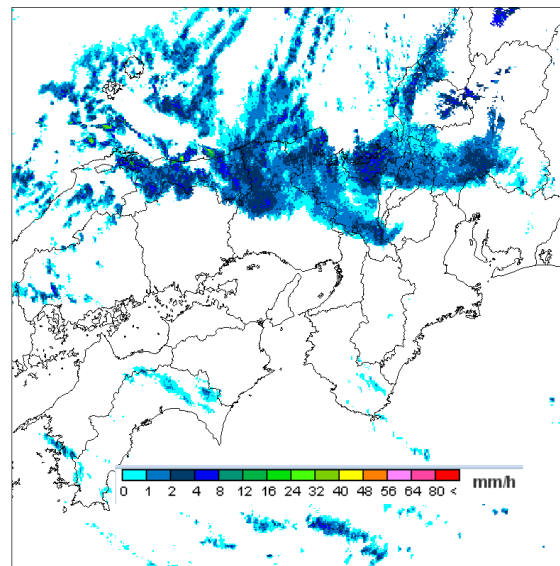
大雪による交通障害が多数発生。負傷者や住家被害も

高速道路や一般道路で通行止め多数、鉄道でも運休や遅延が発生、負傷者や住家の半壊等の被害も発生。京都市では降雪の深さ日合計が1月2日、1日それぞれ観測史上2位と3位で、連日の警報級の大雪。

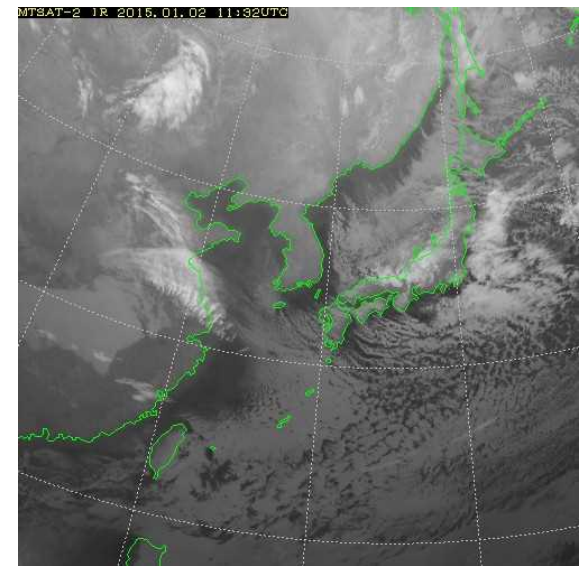
- 京都府では広い範囲で大雪となった。（全ての市町村に大雪警報または大雪注意報を発表）
- 1月1日の京都府京都市の降雪の深さ日合計は16センチ（観測史上3位）、2日は17センチ（観測史上2位）と2日連続で警報級の降雪があり、3日01時には積雪の深さが22センチ（観測史上3位）に達した。
- 京都市で積雪の深さが20センチを超えたのは、昭和29年1月26日の41センチ（観測史上1位）以来、61年ぶり。
- 一般道、高速道路（名神高速、京滋バイパス等）の通行止め、バスの運休、遅延等交通機関の乱れが多数発生した。
- 関西電力によると1日午後5時40分頃から最長1時間、東山区下馬町周辺の約840世帯が停電した。
- 京都市内で転倒により、50名が救急搬送された。カーポート等簡易的な建築物の屋根が破損するなど建物被害が発生した。



地上天気図
（平成27年1月2日21時）

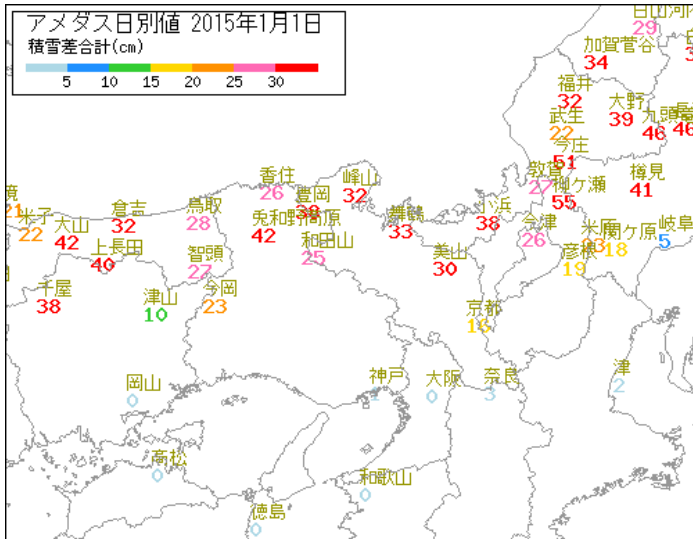


気象レーダー画像
（平成27年1月2日21時）

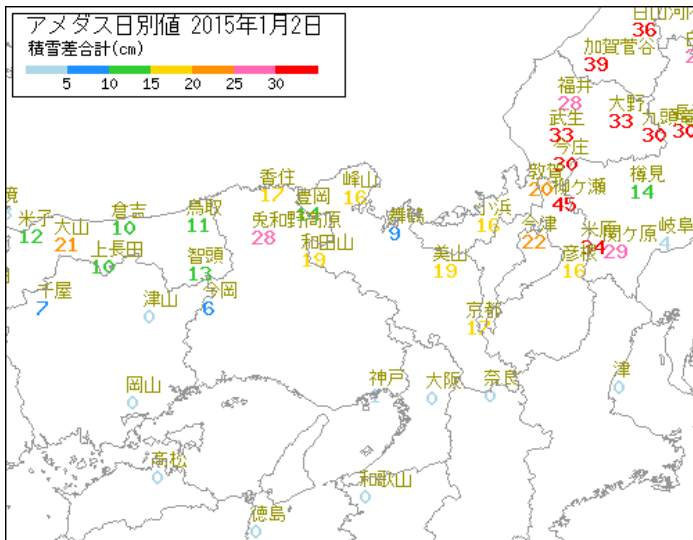


衛星赤外画像
（平成27年1月2日21時）

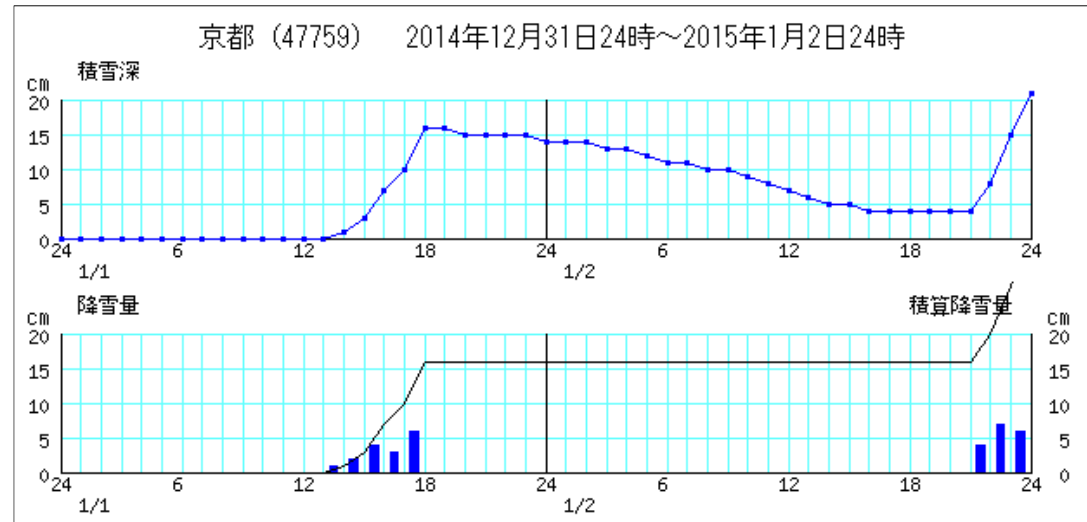
※統計は、令和3年1月12日現在です。
※被害は当時の新聞記事等から収集したものです。



降雪量（平成27年1月1日の合計値）



降雪量（平成27年1月2日の合計値）



京都の降雪と積雪の深さ（平成27年1月1～2日）

雪がもたらす災害

積雪害	鉄道や道路に雪が積もり交通障害をもたらす。また交通障害に伴い、生活・企業活動への影響を及ぼす。農作物への被害など。
風雪害	吹雪によって視界が悪くなり、交通障害や事故をもたらす。
雪圧害	積もった雪の重みで家屋・施設が倒壊したり、果樹などの枝が折れて損傷する被害。
雪崩害	斜面の雪の一部が崩壊してもたらされる災害。
着雪害	湿った雪が送電線や通信線に付着して、その重みで断線したり、鉄塔や電柱などが倒壊する被害。また樹木等にも湿った雪が付着して、その重みで枝が折れて損傷する被害。